

鳥栖バス駅の建設

高速道路網が充実にするにつれ、バスでの旅行も便利になってきた。九州の例でいうと、各県大手のバス会社が参入し、都市間を運行している。しかるに、福岡バスセンターに行くと、たとえば、熊本市から鹿児島市への時刻表をみせてほしいお願いしても、『それはわかりません』という答えが返ってくる。各社ばらばらで九州全体の時刻表がないのだ。

また、各バスが、福岡市の天神から、長崎、とか佐世保、鹿児島、といった具合に起点終点を定めて運行している。だからどんなに乗客が少なくても（途中のバスストップでの乗降客はあるにしても）その間を運行することになっている。

そこで、提案は、鳥栖ジャンクションの広大な敷地に、バスの駅を設け、そこを通過するバスは一旦立ち寄って、たとえば、福岡 鹿児島バスに乗った人も、大分、長崎、その他方面へのバスに乗り換えられるようにする。そうすると、極端な話、福岡 鳥栖駅の運行を増やし、そこから東西、南へのバスを出発させることもありえよう。大分 熊本、人吉などへの経路はあるかどうか分らないが、このアイデアを実現させることで、可能となるなど、経路選択がかなり自由になる。

これにより、乗客の少ないバスを減らすという効率性の向上、頻度を増やすことで時間サービスを高めることができるだろう。

施設的には、ジャンクションへの乗降口の設置と、バスターミナルの設置が必要になる。当然、物産の販売なども可能だ。建物の建設も必要だが、それらをPFI事業で検討する。

そこまで行くと高速道路とバスネットワークに飛躍的な発展をもたらすのではないだろうか。

